

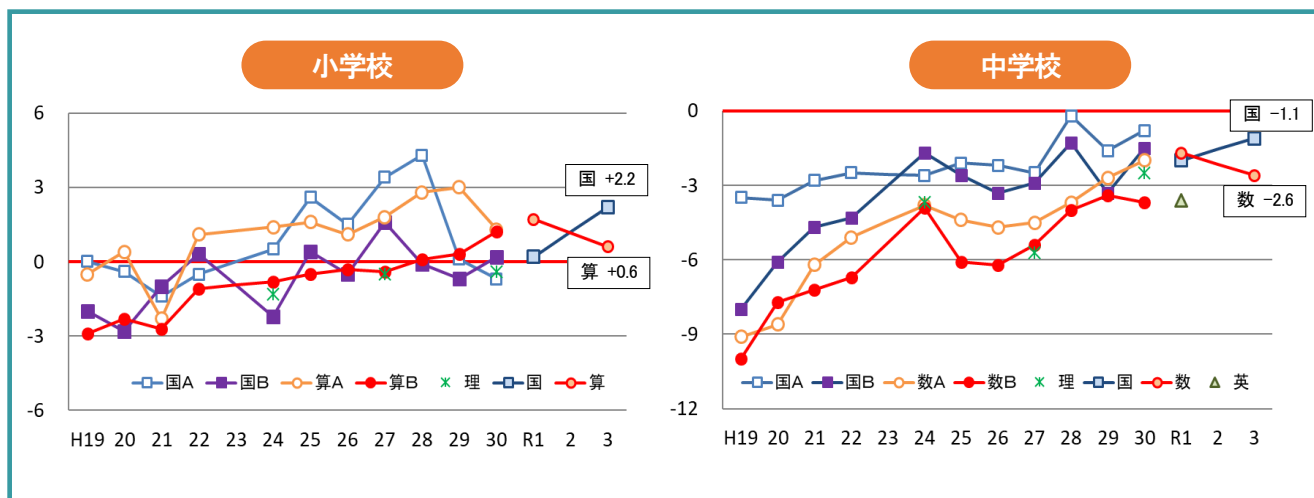


Topics
1

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

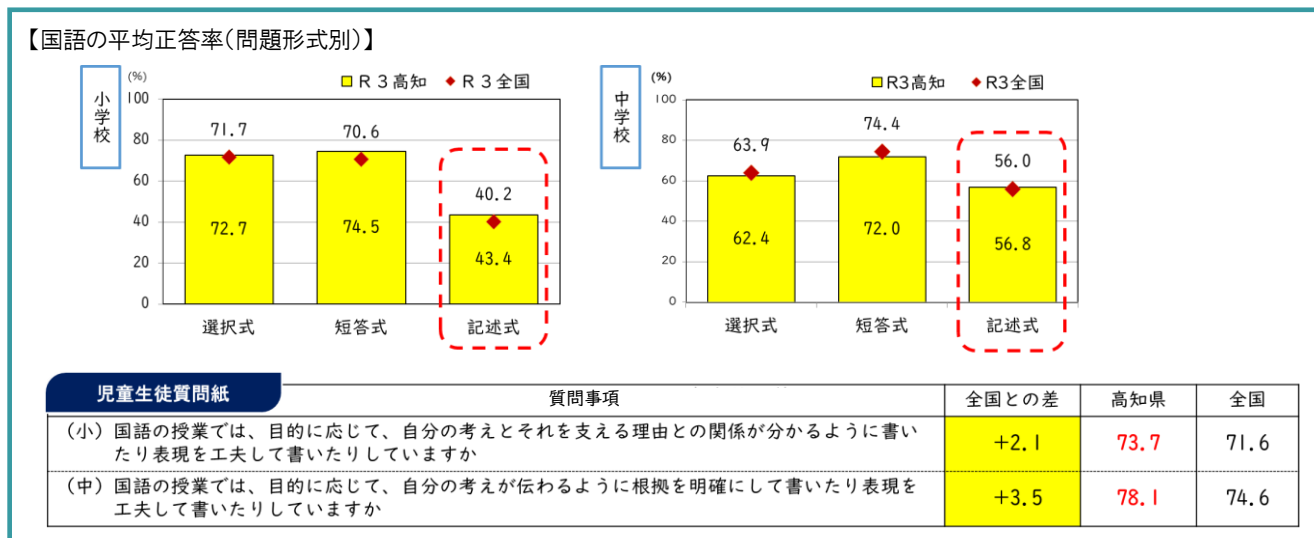
本年5月27日に実施した全国学力・学習状況調査の結果が8月31日に公表されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症による学校教育への影響等を考慮し同調査が実施されなかったため、2年ぶりの実施となり、悉皆調査としては11回目、抽出調査をあわせると13回目の調査となりました。また、小学校は平成29年3月に公示された学習指導要領の指導事項に基づいた調査となりました。

● 教科に関する調査の結果 (全国平均正答率との差) ●



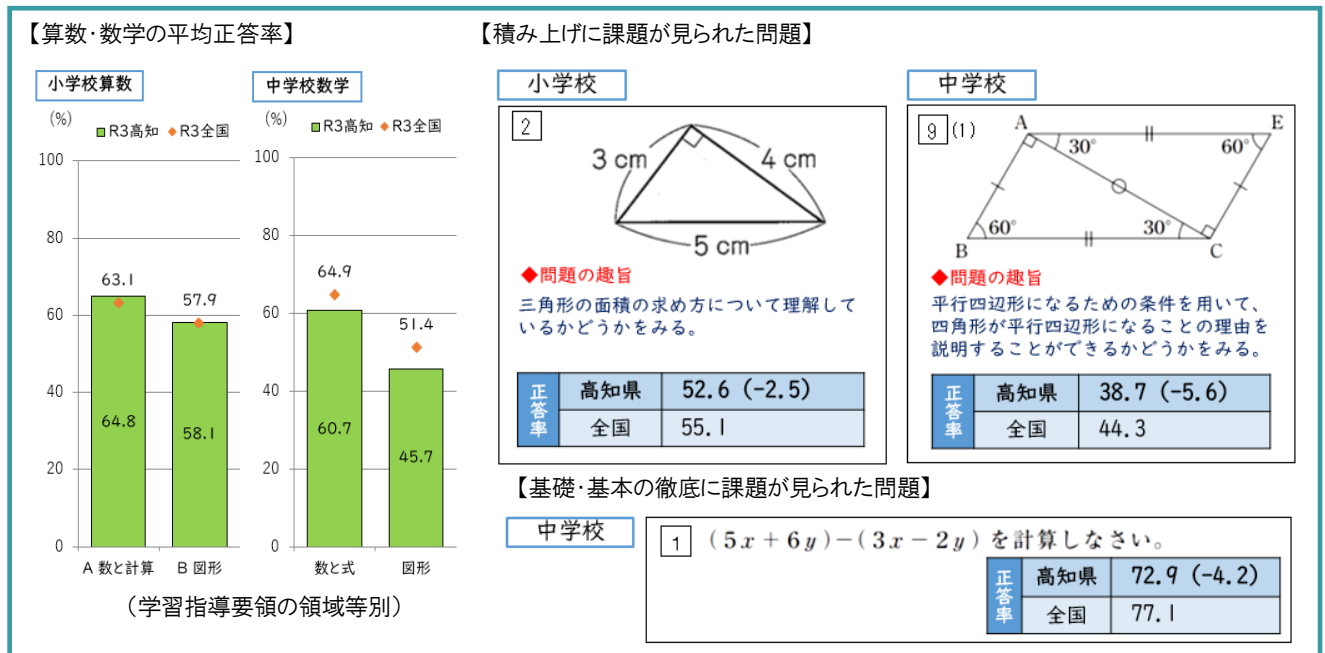
- ・小学校も中学校も同じような傾向が見られ、国語は改善し、算数・数学は若干低下しました。
- ・第2期教育大綱に掲げる「小学校の学力は、全国上位を維持し、さらに上位を目指す。中学校の学力は全国平均以上に引き上げる」という基本目標は、小学校は達成し、中学校は着実に近づきつつあります。

● 言語活動の充実による成果 ●



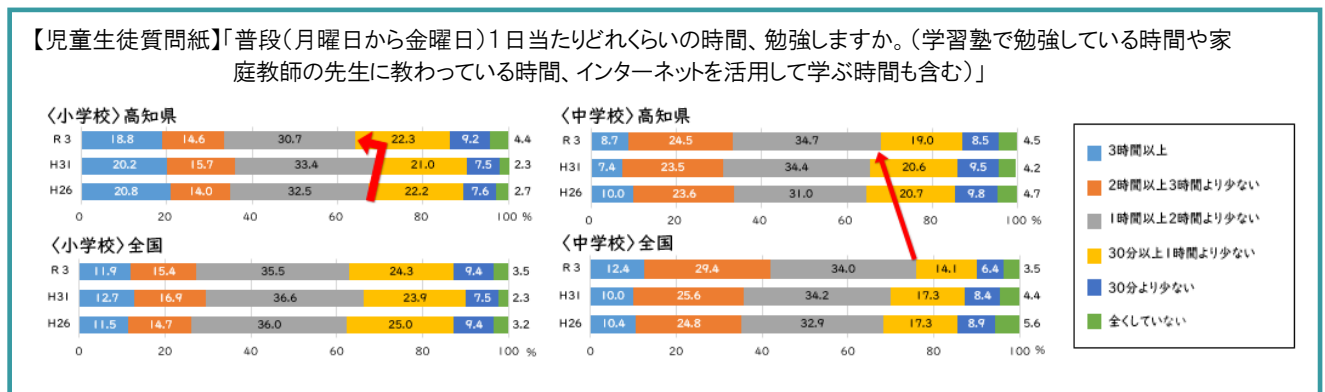
- ・国語について、小学校、中学校ともに前回調査よりも伸びが見られたのは、「記述式」問題において全国平均を上回ったことが要因と考えられます。
- ・質問紙調査においても、国語の授業で「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」活動を行っているという回答した児童生徒の割合が、小学校、中学校ともに全国よりも高くなっており、先生方が言語活動を意識して授業づくりに取り組んでいることが伺えます。

● 小中学校に共通する課題 ●



- ・中学校数学の「数と式」「図形」の領域の正答率が全国を下回っており、その要因の1つとして、基礎となる小学校での学習内容の理解が十分でないことが考えられます。
- ・小学校算数の三角形の面積を求める問題や、中学校数学の基本的な計算問題の正答率が全国よりも低く、基礎・基本の徹底を図る必要があります。

● 家庭学習に関して ●



- ・小中学校ともに家庭での学習時間（1時間以上）は年々向上し、全国並となっていました。本年度は、小学校で大きく減少し、中学校は全国との差が広がりました。

教職員の皆様へ

〈課題改善のために〉

- 全ての教科等において資質・能力や学習の基盤となる言語能力を育成するために、各教科等の特質に応じた言語活動を、適切かつ効果的に学習の中に位置づけましょう！
- 各教科等における資質・能力の育成のためには、学年・校種を超えた系統性が大切であり、基礎的・基本的な知識・技能がその土台となります。全ての児童生徒の基礎・基本の定着に、組織的・計画的に取り組みましょう！
- これからの学校教育には、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、児童生徒の資質・能力を育成することが求められています。資質・能力の育成のためには、授業改善はもとより、学校と家庭における子どもの学びの時間を一体的に捉え、工夫・改善していくことも重要です。「学校でしかできないことは学校で、家庭でもできることは家庭で」という考え方で、再度、授業や家庭学習を見直し、授業と家庭学習のサイクル化を図りましょう！



詳しくは高知家まなびばこ教職員ポータルサイト（小中学校課）をご覧ください。
<https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/310301>



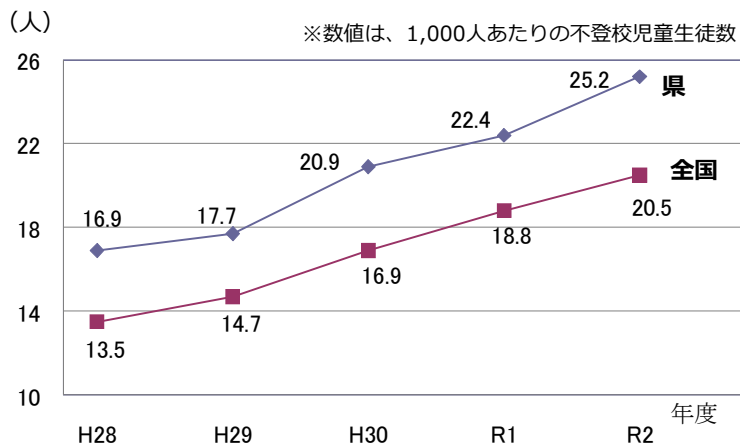
小中学校課 教育支援第二担当
 TEL : 088-821-4735

令和2年度児童生徒の生徒指導上の諸課題に関する調査の結果について

「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）の結果が10月13日に公表されました。本県の状況は以下のとおりです。

▶ 調査結果の概要

■ 小・中学校における不登校児童生徒数（国公立学校）

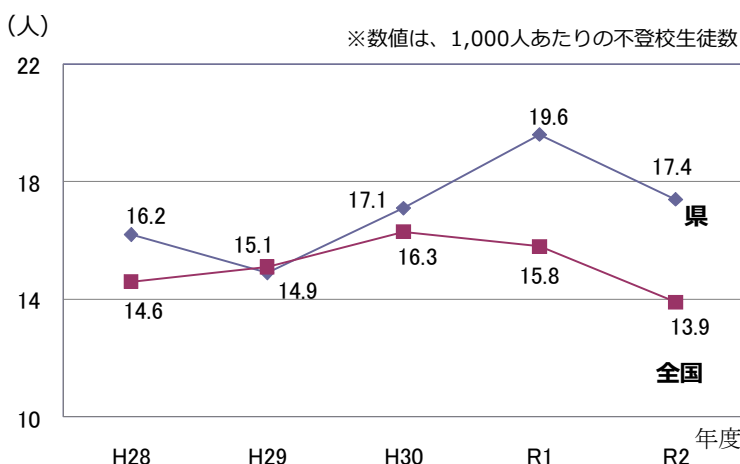


・小・中学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数は25.2人で、令和元年度から2.8ポイント増加しています。

・全国平均も1.7ポイント増加しており、コロナ禍において、生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況にあったことや学校生活において様々な制限がある中で交友関係を築きづらく、登校する意欲が湧きにくい状況にあったこと等が背景にあるとされています。

・不登校は、多くの場合、複数の要因が複雑に絡み合った結果、登校することができなくなったものと考えられ、個に応じた早期の対応と支援が必要になります。

■ 高等学校における不登校生徒数（国公立学校）

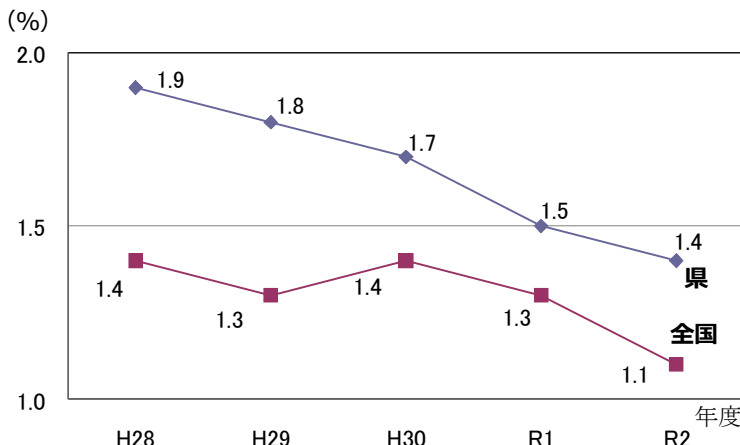


・高等学校における1,000人あたりの不登校生徒数は17.4人で、令和元年度から2.2ポイント減少しました。

・不登校の要因は、学業不振や学校での人間関係や家庭環境など複数の要因が絡み合っている場合が多いと考えられます。

・中学校の段階で不登校を経験した生徒もおり、中学校からの確実な引継ぎと個に応じた支援が必要となっています。

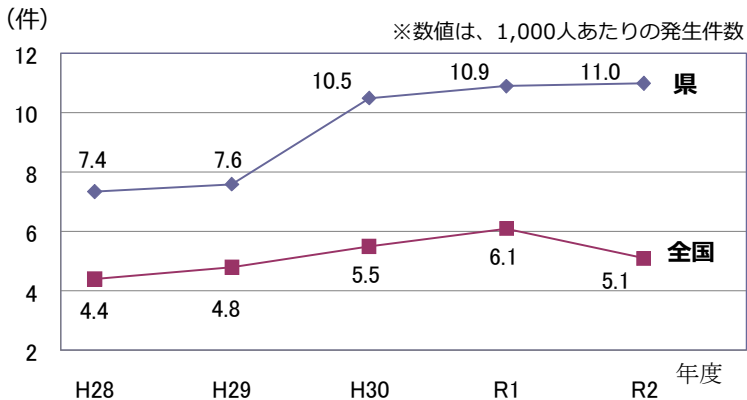
■ 高等学校における中途退学率（国公立学校）



・高等学校における中途退学率は1.4%となり、令和元年度から0.1ポイント減少しました。全国平均も減少しており、一定の改善傾向が見られます。

・中途退学者数の減少傾向は、各学校において、生徒の社会的自立を目指した丁寧な支援が進んだ結果と捉えています。

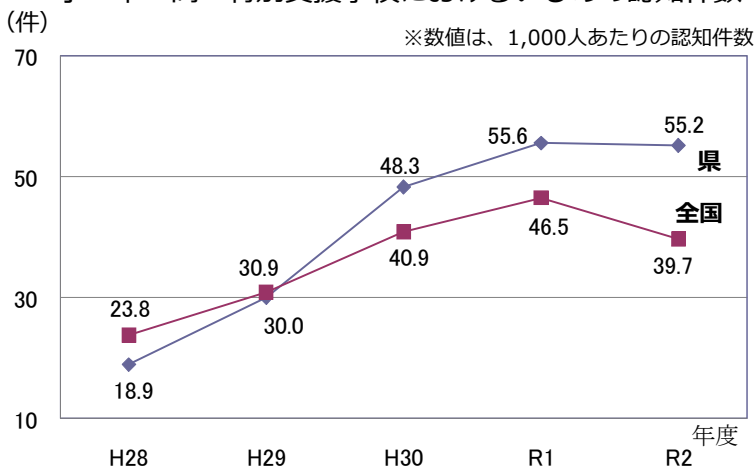
■小・中・高等学校における暴力行為の発生件数（国公立学校）



・小・中・高等学校における暴力行為の1,000人あたりの発生件数は、令和元年度からわずかに増加しました。

・人間関係の構築や感情のコントロールが苦手な児童生徒が些細なことから暴力行為を起こすケースが多く、発達上の課題など配慮を要する児童生徒への教職員の十分な理解と支援が必要です。

■小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数（国公立学校）



・小・中・高・特別支援学校における1,000人あたりのいじめの認知件数は55.2件で、令和元年度からわずかに減少しました。

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による偏見や差別が起きないように、児童生徒に目を配り指導、支援したことも減少した一因だと考えられます。

・認知されたいじめの多くは、冷やかしかからかいといった内容である一方、SNS上でのトラブルが大きく増えています。重篤ないじめも数件発生しており、いじめ防止に向けた組織的な取組を一層推進することが重要です。

教職員の皆様へ

県教育委員会では、不登校や暴力行為、いじめなどの生徒指導上の諸課題を令和5年度までに全国平均まで改善することを目指して取組を進めています。各学校の教職員の皆様には、今回の調査結果をふまえ、特に次の点に留意して児童生徒への支援のより一層の充実を図っていただくようお願いします。

- 不登校については、児童生徒が安心して過ごせる魅力的な学校・学級づくりを進めることで、未然防止に努めることが重要です。また、学校に来づらくなった児童生徒に対しては、学校内の別室や学校以外の場所を活用して、居場所づくりや学習支援等、一人ひとりに応じた適切な支援をお願いします。
- 暴力行為が生じないように、学校全体で組織的な取組をお願いします。特に、繰り返し暴力行為が発生している学校においては、早期に市町村教育委員会等と連携し、暴力行為の再発防止策の徹底をお願いします。
- いじめ問題に対しては、早期にいじめを発見し対応することによって、重篤化させないことが重要です。被害を受けた児童生徒の心情に寄り添い、いじめの見逃しゼロを目指して、より一層の取組をお願いします。
- 生徒指導上の諸課題の改善に向け、生徒指導主事（担当者）や不登校担当者を中心にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部専門人材を活用し、配慮を必要とする児童生徒について、校内支援会等を通じて組織的に支援するとともに、校種間での引継ぎを含めた情報共有を徹底し、抜かりのない支援をお願いします。



調査結果の詳細は人権教育・児童生徒課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310801/>



人権教育・児童生徒課 いじめ問題対策担当
 TEL : 088-821-4722

教員の ICT 活用指導力の向上②

～産官学民の連携による「高知県 ICT 教育コンソーシアム」主催

『新しい時代の ICT を活用した学びフォーラム』が行われました～

教育センターでは、研修と教育 ICT 展示会を組み合わせた「新しい時代の ICT を活用した学びフォーラム」(以下、「ICT フォーラム」という。)を令和元年度から実施しています。

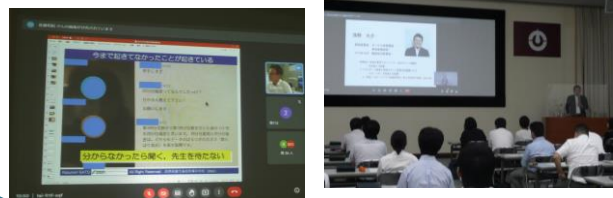
本年度は、産官学民の連携による「高知県 ICT 教育コンソーシアム」を立ち上げ、企画・運営を行うという新しい方式で ICT フォーラムに取り組みました。本フォーラムは、本県の喫緊の課題である教員の ICT 活用指導力の向上や 1 人 1 台端末を活用した「学習者中心の学び」をどのように実現するかを目的に、10 月 9 日(土)に開催しました。

また、昨年度のオンライン開催の実績を踏まえ、講演や先進校事例発表において Google Meet を活用したオンライン参加を一部可能とするハイブリット型で実施しました。

参加者は当センターへ来所 73 人、オンライン参加 37 人、計 110 人でした。

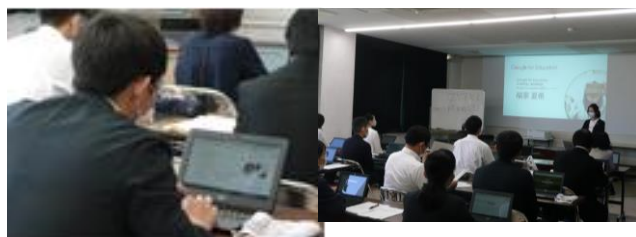
◆基調講演・特別講演

「ICT×教育イノベーション～子どもたちと未来を創る～」をテーマに、基調講演は信州大学教育学部助教 佐藤和紀氏に、特別講演は経済産業省サービスグループサービス政策課長 浅野大介氏にいただきました。



◆Google アプリ体験

Google アプリの操作を体験するスタンダードコースと、授業での活用を体験するアドバンスコースに分かれて実施しました。



◆先進校事例発表

校種別の部会に分かれ、「1 人 1 台端末を活用した学習者中心の学びを実現するには」というテーマで県外校・県内校から発表していただきました。協議では、来所者とオンライン参加者が気軽に意見や質問をできるように、メンチメーターというウェブサービスを活用し、発表者から回答や提案をいただきました。



◆教材体験

デジタル教科書や電子黒板、アプリケーションを扱う企業が参加者に説明をしてくれました。



◆授業づくり研修

「ミネルバ大学の教授法」フルアクティブラーニング・反転授業・完全オンラインで行われる授業のデモクラス(90 分)を体験しました。



★参加者からの感想★

- ・すぐに実践に移せる実例が多く、とても参考になりました。これからタブレットを活用した授業に取り組むうえでの基本的な考え方についても参考になりました。
- ・これからの ICT の活用について様々な学習、体験ができました。取り残されないようにしたいです。
- ・ICT の活用について多面的な視点で学ぶことができました。
- ・これからの教育において、児童生徒に付けるべき力や、ICT 活用による思考の深まりを具体的に考えることができました。

ICT フォーラムへのたくさんの参加、感想をいただきありがとうございました。
今後も ICT フォーラムの充実を図ってまいります。



詳しくは高知県教育センターホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/>



高知県教育センター
TEL : 088-866-3890



10月26日（火）高知共済会館において、第2回高校生活動推進委員会を開催しました。

会議では、8月13日に福井県で開催された令和3年度全国高等学校総合体育大会総合開会式等について事務局から報告した後、「各校におけるPR活動」や「推進委員会におけるおもてなし・PR活動」についてグループワークを行い、協議や意見交換を行いました。

特に、「各校におけるPR活動」についての協議では、生徒委員から「のぼり旗を設置する」や「あいさつ運動で呼びかける」など、様々な意見が出ました。

各学校においても、色々な形でインターハイをPRする自主活動の取組を積極的に実施していただき、大会の成功に向け盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力をぜひよろしくお願いいたします！



<生徒委員から出た自主活動例>

<広報・PR活動>

- 校内や学校周辺にのぼり旗を設置
- 大会ポスターを校内に掲示
- 校内放送でインターハイについて周知
- あいさつ運動でポケットティッシュを配布
- 交通安全街頭指導でのぼり旗を持ってPR
- 生徒会新聞でインターハイの記事を掲載
- 学校放送や校内新聞で取り上げる



<環境美化活動>

- 学校や駅周辺の清掃活動（生徒会活動等）
- 競技会場周辺の清掃活動



<その他>

- メッセージボードを作成
- 高校生ラジオでインターハイに向けた話題を提供
- 家庭クラブの販売活動に合わせたPR活動
- 部活動の発表会や行事でPR活動
- 地域の中学校に向けたPR活動
- 校内にカウントダウンボードを作成
- 会場周辺のお店などを紹介するポスター・チラシを作成



<自主活動の様子>



<種目別大会ポスター原画募集を締め切りました！>



「R4 全国高校総体」において高知県で開催される8競技10種目の「競技種目別大会ポスター原画」の募集について、県内の29校から合計177点もの作品の応募がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校活動に制限がある中、多くの高校からご応募いただきありがとうございました。

今後は、第1次審査・第2次審査を行い、ご応募いただいた作品の中から、各競技別に最優秀作品1点を選考します。

最優秀作品は、本大会の各競技の大会プログラムの表紙に使用するなど、幅広く活用していきます！



<応募作品（8競技10種目）>



詳しくは四国総体2022公式ホームページをご覧ください。
<https://www.koukousoutai.com/2022soutai/>



保健体育課全国高等学校総合体育大会推進室
高校生活動・広報担当 TEL：088-821-8020



令和3年1月に国際バカロレアDP認定校となった高知国際高等学校では、この11月からDPの授業が始まりました。DPとは、国際バカロレアの教育プログラムのうち高等学校向けのプログラムです。このプログラムでは、国際バカロレア機構が定めたカリキュラムを履修し、高校3年生の最終試験で所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)を取得できます。

DPの授業では、各教科の科目のほか、コア科目といわれる、TOK(知の理論)やEE(課題論文)、CAS(創造・活動・奉仕)に取り組みます。これらのコア科目は探究型学習と全人的教育を強調する国際バカロレア教育の大きな特徴と言えます。このようにDPコースの生徒は、学校の内外で、様々な活動に日々取り組んでいます。

※国際バカロレア (IB : International Baccalaureate) とは

多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的とした国際標準の教育プログラムです。世界共通試験により所定の成績を収めると、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を付与され、国内外の大学の入試時に利用することができます。

※TOK(知の理論) : 「知識の本質」について考え探究する活動

※EE(課題論文) : 自ら課題を設定して調査・研究を行い、論文にまとめる活動

※CAS(創造・活動・奉仕) : 教室外で、創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬での自発的な交流活動などの体験的な学習

【在校生の声】

課題や準備することが毎日たくさんあってたいへんですが、授業はとても楽しく、友達と協力して、助け合いながら勉強できていると感じます。



国際バカロレアの教育プログラムでは、自分の興味を深めながら学習したいことを勉強できます。

学校は施設が充実していて研究がやすく、授業も実験など実践的なカリキュラムが多くあります。各教科をバラバラに学ぶだけでなく、全ての教科に共通する概念をもとに実社会と結びつけて学習するので、日常生活や将来につながる考え方が身につきます。



詳しくは高知国際中学校・高等学校のホームページをご覧ください。
<https://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/> 「高知国際」で検索



高等学校振興課
TEL : 088-821-4542

学校関連パネル展「学びの記憶～明治から令和へ～」を開催しました！

明治4年の廃藩置県で高知県が誕生して150年を迎えることを機に、本県の歴史・人物・出来事についての歩みを振り返り、県民の皆様へ郷土の歴史への関心を高めていただくことを目的として、県政150年記念事業学校関連パネル展「学びの記憶～明治から令和へ～」をオーテピアで開催しました。

ご協力いただきました学校関係者の皆様には、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。また、県教育委員会のウェブサイト上でオーテピアで展示した写真を公開します。ぜひご覧ください。



なお、現在県立公文書館で開催されている「文書と写真からたどる高知県の軌跡」では、引き続き教育関連のパネルを展示していますので、ぜひご来場ください！

◆文書と写真からたどる高知県の軌跡

令和3年10月18日（月）～12月24日（金）月曜～金曜の9時～17時
（※12月19日（日）は開館します。）

場 所 公文書館1階展示室

展示内容 ・明治時代から現代までに撮影された学校に関する写真（県立学校）
・県民グラフ（県広報誌） など



詳しくは教育政策課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/>



問い合わせ 教育政策課 市町村・学校組織支援担当
TEL：088-821-4568

お知らせ

■第7回高知県社会教育実践交流会について (1/23)

様々な地域課題の解決や人と人との関係が密な地域づくりをめざし、社会教育関係者が一堂に会して実践事例に学ぶことにより、関係者の活動の活性化とネットワークの構築を図ることを目的として開催しています。詳細については生涯学習課ホームページをご覧ください。

◆生涯学習課ホームページ： <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401>

■高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム 2021 について (1/30)

子どもたちの基本的な生活習慣の維持・向上、定着の重要性を伝え、地域一丸となった取組をより一層促進するため、オーテピア高知図書館にて標記のフォーラムを開催します。本年度は朝食に焦点をあてた講演を予定しています。詳細は、後日生涯学習課ホームページへ掲載します。



<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL：088-821-4731 FAX：088-821-4558 E-mail：310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。



高知県は持続可能な開発目標（SDGs）に向けて取り組んでいます。

